

 Rotary  ロータリーは機会の扉を開く 2020-21 年度 RI テーマ Rotary Opens Opportunities 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーウ	<h1>Weekly Bulletin</h1> <p>30th anniversary</p> <h2>藤枝南ロータリークラブ 会報</h2>
	 例 会：毎週金曜日 会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30 T E L：054-641-3321
2020-21 年度 会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠	

例 会 第 1 3 9 6 回： 新年賀詞交歓合同例会/小杉苑

原点回帰

■ 会長挨拶

松浦正秋君



新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスの第3波の拡大が止まない中、夜の懇親会が無くなり、昼の開催になりましたが、藤枝クラブとの合同賀詞交歓会が開催できたことをうれしく思います。

「足るを知る」現状が十二分に足りているという価値の捉え方をしていくことが必要ではないかと思えます。人は過去の成功体験や今までの価値観に囚われてしまう傾向にあると感じます。感染拡大により経済活動はもとより、日常生活においても今まで経験したことのない事柄を求められるようになりました。パラダイムシフト、大きな価値の変化が起きていると考え、対応していくことが必要だと思えます。

業種や業態によっては多くの事業者が大変厳しい状況に置かれています。その様な人々がこの現状を理解して足りているとは考えられないと思えます。しかし、今置かれている状況を客観的に捉え、未来につながる発想が必要ではないでしょうか。「他人と過去は変えられないが、自分と未

来は変えられる」エリック・バーンというカナダの精神科医の言葉です。

事業者の集まりであるロータリークラブの会員でありますので、業種を超えた様々な情報や知恵を交換し合い、この難局を乗り越えて、新たなる明るい未来を築く一年にしたいと思います。

■ 藤枝RC会長挨拶

玉木潤一郎君



本来であれば夜間例会でしたが、それでもこうして感染予防運営に協力いただきながら南クラブの皆様とこうして新年を祝えることに、謹んでお慶び申し上げます。

毎年年始には、テレビで年末の株価を予想する番組をやるが、今年は見せていません。

今年末の株価を予想するのは例年とは異なるし、経済界に身を置く者としてどう対応していくか真価が問われます。

今回のパンデミックは戦争以来と言われ、1945年の終戦から76年目。

1964年生まれの私は戦争の実感はありませんが、実はたった19年しか経っていませんでした。

しかし、この歳になると19年前なんてほんのこの間です。

先輩方の中には戦前戦中生まれが多くおられる。それでも経営者として戦争体験がある方はおそろくおられない。

経済人としては、いま生きている中の誰も対応の仕方を知らないのです。

1918年に始まったスペイン風邪の収束には2年から4年までの説があります。

コロナ禍のもと経済をどう回すか、私たちには新時代の舵取りが問われます。

まずはロータリークラブの会合からクラスターを出さないこと。

本日のような運営の念頭に置いていきましょう。そして2021年7月からの年度で、藤枝ロータリークラブは50周年を迎えます。

ぜひ南クラブの皆様にもご協力いただき、2022年の春にはテーブルを囲んで周年祝賀会が開催されていることを祈ります。

出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
37/51 72.54%	43/51 84.31%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○阿井君○朝比奈君○漆畑君○江崎君○大村君
○川口君○佐野裕君○鈴木寿君○平原君
○瀧脇君○村松章隆君○望月君○渡辺哲君

(2)メイクアップ者

漆畑雄一郎君（静岡中央）大村和宏君
平原望君 瀧脇一啓君 村松章隆君

食事準備数	食事提供数	残	累計残
37	37	0	23

パーフェクト例会数 😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までをお願いします

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
1/22(金) 第1397回	弁当配布	小杉苑
1/29(金) 第1398回	早朝例会	
2/5(金) 第1399回	弁当配布	理事会
2/12(金) 第1340回	会員卓話	小杉苑

